

受検番号

令和六年度 滋賀県立高等学校入学者選抜 学力検査 問題用紙

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、全て解答用紙に記入しなさい。
- 3 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書きなさい。
- 5 問題用紙は、冊子の形になっています。
- 6 問題は、表紙の裏を1ページとし、6ページまであります。開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始めなさい。
- 7 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入しなさい。

次の【本の一部】を読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

【本の一部】

著作権保護のため削除

(幸田 こうだ 正典 まさのり 『魚にも自分がわかる — 動物認知研究の最先端』による。)

(注) 認知研究…人間などが自分の外側にあるものをどのように認識したり理解したりするかについての研究。

ギャラップ教授…アメリカ合衆国の心理学者。

A

B

C

D

著作権保護のため削除

1 【本の一部】の空欄 にあてはまる四字熟語として最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自問自答 イ 東奔西走 ウ 四苦八苦 エ 試行錯誤

2 【本の一部】の——線部①について、これはどのようにするということですか。解答欄の「と考えること。」につながるように、【本の一部】から三十五字で抜き出し、最初と最後の四字を書きなさい。

3 【本の一部】の——線部②について、【図】のAからDまでを【本の一部】の実験においてチンパンジーが見せた行動の順に並べ替えたものとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。ただし、一つだけ無関係な図が入っています。

ア C ↓ B ↓ A イ B ↓ D ↓ A ウ D ↓ A ↓ C エ A ↓ B ↓ D

4 【本の一部】の——線部③について、このように一〇日間鏡を見せた理由を、四十字以内で書きなさい。

5 【本の一部】の——線部④について、このように言える理由を、百字以内で書きなさい。

二 やまとさんたちは、国語の時間に、俳句について学んでいます。次は、その時に読んだ【本の一部】と、その時の【話し合いの一部】です。これらを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

【本の一部】

著作権保護のため削除

(神野 紗希)

『俳句部、はじめましたーさくら咲く一度っきりの今を詠む』による。

(注) 言いとめた…ものごとの様子を言葉で表した。

やまとさん：俳句は、授業で習ったね。季語を入れるというのが決まりだったけれど、確か、季語以外にも、俳句によく使われる表現があったよね。

かずささん：ああ、I だったよね。「いくたびも雪の深さを尋ねけり」や「万緑の中や吾子の齒生え初むる」に用いられているね。句全体のリズムを調整したり、作者の感動の中心を示したりするという働きをするんだったね。

いずみさん：そうだったね。ところで、昔の人の感覚は鋭いね。【本の一部】に「竹の秋」という季語が出ているけど、私が竹林をイメージするなら緑の竹林で、それ以上のイメージは出てこなかったなあ。

II の季語だったね。同じような考え方だね。

やまとさん：この【本の一部】で一番印象に残ったのは、数学の授業のところかな。こんなにスツと俳句が作れたら、楽しいだろうなあ。

著作権保護のため削除

いずみさん：でも、「I というけれど、やっぱり季語の知識がないと、こう上手には作れないよね。」

やまとさん：そうだね。【本の一部】の II 線部②に「III があるけれど、これも、III ということだね。」

かずささん：季語以外にも、今まで知らなかった言葉を人から聞いたり、本で読んでみること、世界が違って見えることってあるね。【本の一部】の筆者が II 線部③で言っているのも、そういうことかもしれないね。

1 【本の一部】の I 線部①について、春の季語である「風光る」と、冬の季語である「風冴ゆる」とは、どのような点で異なりますか。五十文字以内で違いが分かるように書きなさい。

2 【話し合いの一部】の空欄 I にあてはまる適切な語を書きなさい。

3 【話し合いの一部】の空欄 II にあてはまる適切な季節を漢字一字で書きなさい。

4 【話し合いの一部】の空欄 III にあてはまる内容として最も適切なものを、次のアからエまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 季語によって示される風景とまったく同じ風景を目にすることで、自分を取りまく世界を深く理解して新たな俳句を生み出せる
- イ 季語が持つイメージどおりに周囲の風景を俳句で表現することで、自分を取りまく世界を好ましく思っより美しく感じられる
- ウ 季語によって示される風景が現実における体験不足を補うことで、自分を取りまく世界をより深く理解できて感情が豊かになる
- エ 季語が持つイメージと実際の体験とが結びつく経験をすることで、自分を取りまく世界に対する見方がより細やかなものになる

5 【話し合いの一部】の II 線部について、あなたがある言葉を人から聞いたり本で読んで知ったことで、ものごとの見方や考え方が変わった経験を、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

- 条件1 具体的な言葉の例を挙げ、どのような経験をしたかを書くこと。ただし、【本の一部】や【話し合いの一部】に出ている具体例以外を用いること。
- 条件2 原稿用紙の正しい使い方にしたがって、百字以上、百四十字以内で書くこと。

三

次の1から4までの各問いに答えなさい。

1 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① イチヨウ薬を飲む。
- ② サイバン所を見学する。
- ③ 文化祭のマクが開く。
- ④ 学問をオサめる。
- ⑤ 新セイヒンを開発する。

2 次の①から⑤までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- ① 砂が海に堆積する。
- ② クラスの優勝に貢献する。
- ③ 雨の滴が落ちてくる。
- ④ 兄のように慕う。
- ⑤ 曖昧な答えを返す。

3 次の文章を読んで、後の①と②の各問いに答えなさい。

著作権保護のため削除

(滝沢 武久 『子どもの思考力』による。)

① ——線部AからDまでの語について、語と接続の種類の種類組み合わせが適切でないものを次のAからEまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A A―逆接
- I B―並立・累加
- ウ C―転換
- E D―順接

② 文章中の空欄□にあてはまる言葉として最も適切なものを、次のAからEまでのの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A たまらず
- I すかさず
- ウ おもわず
- E たゆまず

4 次の【和歌】を読んで、後の①から③までの各問いに答えなさい。

【和歌】

A 父母が頭かき撫なで幸さくあれて言いひし言げ葉とぜ忘われかぬつる

防人歌さきもりのうた

(『万葉集』)

B 人はいさ心も知らずふるさは花ぞ昔の香ににほひける

紀貫之きのつらゆき

(『古今和歌集』)

① 【和歌】 Aから、発言部分を抜き出して書きなさい。

② 【和歌】 Bの——線部を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

③ 【和歌】 A・Bの説明として最も適切なものを、次のAからEまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A Aは、故郷への切実な思いを素直に詠み出しているのに対して、Bは人と自然の風物を対比させながら、遠回しに自身の意図を表現している。
- イ Aは、故郷にいる両親の長寿を願う思いが詠まれているのに対して、Bは昔からの知り合いにも忘れられてしまう人の世の辛さを詠んでいる。
- ウ Aは、幸せだった頃の記憶と現在を対比させて詠んでいるのに対して、Bは人と自然を対比させて、梅の花の香りのかぐわしさを詠んでいる。
- エ Aは、自身の過去の記憶をもとに歌が作られているのに対して、Bは、他人の過去の体験について聞いたことをもとにして歌が作られている。

受検番号

令六

国語

解答用紙

※印の欄には何も記入しないこと。

—

5					4	3	2	1

と考えること。

※

—

5										4	3	2	1	

← 140字 100字 →

※

—

4	3	2	1
③	①	①	
			①
		②	
		②	②
		②	
			③
		③	③
		④	④
		う	める
			⑤
		⑤	⑤

※

※
